

観点別教材一覧

1. 基本的人権・共生社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	1	P.39	目で見て情報を伝える言語（手話）
2	2	P.75	南アフリカ共和国の変化（アパルトヘイト）
		P.85	北アメリカに住む人々（多民族国家）
		P.111	ニュージーランドの三つの公用語（手話）
3	3	P.199	世界とつながる大阪（コリアタウン）

編	章	ページ	項目
3	3	P.229	多文化共生社会をめざして（大泉町）
		P.253	日本の先住民族であるアイヌ民族
3	4	P.264-272	自然と防災班（京都市，高齢者・障がい者）
		P.265-273	交通と観光班（京都市，外国人観光客）
		P.267	視覚障がい者施設の人の話（京都市）

2. 平和・国際理解にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	1	P.23-42	世界各地の人々の生活と環境
2	2	P.55	くり返される紛争（西アジア・中央アジア）
		P.70-71	イギリスのEU 離脱問題を考えよう
		P.79	さまざまな国際協力の試み（アフリカ）

編	章	ページ	項目
2	2	P.80	アフリカの紛争と私たち
3	3	P.173	沖縄の基地と人々の生活
		P.183	平和記念都市・広島市
		P.232	オリンピック・パラリンピックからみる東京の変化

3. 伝統・文化にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	2	P.56	東アジア文化都市（豊島区）
3	3	P.172	沖縄の歴史と独自の文化
		P.181	港町として栄えた鞆の浦（福山市）
		P.196-197	千年の歴史をもつ京都 日本の歴史のふるさと，奈良
		P.200-201	伝統産業の取り組み（近畿地方）

編	章	ページ	項目
3	3	P.202-203	歴史的な街なみの保存（京都・奈良）
		P.203	百舌鳥・古市古墳群（大阪）
		P.225	世界が注目！日本の都市文化（関東地方）
		P.240-241	伝統文化の維持と革新（弘前市・黒石市など）
3	4	P.265-273	資源と産業班，交通と観光班，伝統と文化班（京都市）

4. 我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる教材

編	章	ページ	項目
1	-	P.6	オリンピックで掲げられる日本の国旗
		P.16-17	日本の領域の特色
		P.17	沖ノ鳥島を守るために

編	章	ページ	項目
1	-	P.18-19	日本の領域をめぐる問題 （北方領土，竹島，尖閣諸島）
2	1	P.41	伊勢神宮の初詣

5. 環境・持続可能な社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	2	P.66-67	LRT，リサイクル，再生可能エネルギー，酸性雨（ヨーロッパ）
		P.77	広がるフェアトレード（アフリカ）
		P.94-95	持続可能な社会をつくるために（アメリカ）
		P.102-103	熱帯雨林，バイオ燃料（南アメリカ）
		P.104	地球温暖化を防ぐために（南アメリカ）
		P.112-113	地球温暖化による海面上昇（オセアニア）
		P.116	生態系，オゾンホール（北極・南極）

編	章	ページ	項目
3	3	P.173	環境保全と観光の両立をめざして（沖縄県）
		P.174-175	北九州工業地帯，水俣市
		P.188-189	豊かな魅力を生かした地域活性化（中国・四国地方）
		P.197	琵琶湖の環境を未来の世代へ
		P.204	大阪・関西万博が開かれる大阪市の湾岸部
		P.258-259	とる漁業から育てる漁業へ，環境保全に配慮した観光（北海道）
		P.262	持続可能な開発目標（SDGs）

6. 防災・安全にかかわる教材

編	章	ページ	項目
3	1	P.121-136	自然と防災班（京都市伏見区）
		P.132	ハザードマップ（京都市伏見区）
3	2	P.144-145	地震・火山災害，地震・津波が起きるしくみ
		P.146-147	気象災害，ヒートアイランド現象，集中豪雨
		P.148-149	防災・減災，自助・共助・公助
		P.150-151	釜石の奇跡，ハザードマップ（北名古屋）
3	3	P.190	巨大地震にそなえる取り組み（高知県）

編	章	ページ	項目
3	3	P.199	阪神・淡路大震災
		P.209	水とつき合う地域の知恵（濃尾平野）
		P.230-231	都市問題の解決に向けて（関東地方）
		P.234-247	東日本大震災
		P.244-245	震災からの復興と災害に強い地域づくり
3	4	P.246	新しいまちづくりをめざして（東松島市）
		P.264-272	自然と防災班（京都市）

7. 情報にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	1	P.26	雨温図の読み取り方
2	2	P.47・51	グラフの読み取り方
3	1	P.118-137	地域調査の手法（京都市伏見区）

編	章	ページ	項目
3	1	P.124	デジタル地図にふれてみよう
		P.132-133	地図のつくり方，グラフのつくり方
3	4	P.263-273	地域のあり方（京都市）

8. 社会参画にかかわる教材

編	章	ページ	項目
3	2	P.148-149	防災・減災，自助・共助・公助
3	3	P.233	東京への一極集中について考えよう
		P.247	持続可能な社会をめざして（東北地方）

編	章	ページ	項目
3	3	P.262	持続可能な開発目標（SDGs）
3	4	P.263-273	地域のあり方（京都市）
		P.272-273	まちづくり会議を開こう（京都市）

教師用指導書は、「学習指導編」、「ワークシート・評価問題編」の2分冊と、「デジタルデータ集(CD-ROM)」から構成されます。

学習指導編

総論編	学習指導要領と教科書の対応などを解説した論考や、学習指導計画作成資料などを掲載しています。
学習指導編	毎時の展開例・板書例・内容の解説(「資料活用」「深めよう」「確認」などの解答例・手立てを含む)などを掲載しています。

板書例

授業の際に参考になる板書例を掲載しています。

教科書 P.184~185 ワークシート/別冊P.73

2 中国・四国地方—人口や都市・村落をテーマに— / 1 2 3 4 5

3 都市部や農村部を結ぶ交通網

本時の視点
中国・四国地方の各地域の交通網がどのように整備されたか、交通網の整備により地域の人々の生活にどのような変化が生じたのかなどについて、「地域どうしのつながり」の「見方・考え方」から考察し、交通網の特色や変化の要因などをとらえさせる。

本時のねらい
●中国・四国地方の各地域の交通網がどのように整備されているのかを理解することができる。
●中国・四国地方の交通網の整備が、人口の変化や地域社会にどのような影響を及ぼしているのかを考察し、表現することができる。

評価規準
知識・技能【知】
中国・四国地方の各地域に整備された交通網により、それぞれ結ばれている都市やルートなどを理解することができる。
思考・判断・表現【思】
交通網の整備により地域社会に生じた変化とその原因を、成果と課題の両面から考察表現している。

本時の展開	ねらい・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価	
導入(5分)	○交通網による結び付きのようすを知る。 ◆国1から橋による中国地方と四国地方の結び付きのようすを知る。 ◆生徒の吹き出しを活用する。	・結ばれている都市やルートをおさえる。 ・瀬戸大橋は高速道路と鉄道の二段構造であることにもふれる。 ・開通以前、人々は瀬戸内海を船で行き来していたことをおさえる。		
	○本州四国連絡橋や高速道路がどのように整備されたのかを知る。 ◆国3や「資料活用」から本州四国連絡橋の3つのルートの名称と開通時期、高速道路の開通時期を確認する。 ◆国2から、工業製品出荷額の変化のようすや変化の理由を考察する。 ◆国4・国5・国6や「深めよう」から、人々の移動様式の変化のようすや変化の理由を考察する。	・本州四国連絡橋だけでなく高速道路の整備も地域に大きな影響を与えたことにもふれる。 ・高速道路は東西方向の整備から始まり、近年では南北方向の整備も行われていることにもふれる。 ・工業製品出荷額の変化が高速道路の建設などによることをおさえる。 ・船に代わり鉄道・高速バスの利用が大幅に増加したことをおさえる。 ・同一時間内に移動できる範囲が広がったことにもふれる。 ・このことがどのようなことにつながるのかを考察させる。	・ワークシートの記述や発問内容から、本州四国連絡橋や高速道路の開通の過程と、それぞれの交通網により結ばれた都市やルートなどを理解しているかを評価する。【知】	
本時の展開(10分)	○本時の学習内容をふりかえる。 ◆中国・四国地方の交通網の整備が地域に与えた影響やその原因についてまとめる。 ◆「確認」を活用する。	・「地域どうしのつながり」の「見方・考え方」と、これに加えて「地域」による各地域との結び付きと関連付けて、中国・四国地方の人々の生活の変化を記述させる。	・ワークシートの記述内容から、交通網の整備により工業や観光業が発展した一方で地域社会が衰退していることにもふれることを評価する。【思】	

本時の展開

教科書の展開に沿った学習活動や発問例、指導上の留意点、評価などを、使いやすい指導案の形で例示しています。「見方・考え方」を授業でどう扱うかについても提案しています。

解答例・手立て

教科書の中に出てくる問いの解答例や、指導の手立てを示しています。

第3編第3章 日本の諸地域

板書例

◆中国・四国地方の交通網の整備は、人々の生活をどのように変化したのでしょうか。

○高速道路の整備と本州四国連絡橋の開通
・東西方向—中国自動車道 山陽自動車道など
・南北方向—本州四国連絡橋やその他の自動車道

本州四国連絡橋
明石海峡大橋・大瀬戸橋
瀬戸大橋
しまなみ海道

(東西方向の整備の変化)
交通網の整備により地域社会に生じた変化とその原因を、成果と課題の両面から考察表現している。

(南北方向の整備の変化)
・短時間で安定した移動・輸送ができるように
・人やものの行き来が広範囲に

交通網の整備によるマイナス面も生まれる
連絡船やフェリーの廃止→移動が不便に
買い物客の流出→地元商業の衰退
人口流出の加速→過疎化の進行 など

内容の解説
P.184 図1 瀬戸大橋
瀬戸大橋は、見島—取島ルートにある複数の橋梁の総称である。1988年開通で、橋梁長の合計は7kmを超える。鉄道道路併用橋で、上段を瀬戸中央自動車道、下段をJR四国の本四備讃線(瀬戸大橋線)が通っている。
瀬戸中央自動車道は延長約37kmで、本州側で中国自動車道、四国側で高松自動車道と接続しており、瀬戸大橋部分の交通量は1日2万台程度(2018年)。瀬戸大橋線は延長約46km(岡山—宇多津)で、本州側で山陽本線などと、四国側で予讃線と接続しており、瀬戸大橋部分には1時間に特急2本、快速2本程度が走っている。

P.184 図2
岡山県津山市には、6つの工業団地があり、パナソニックの子会社など、205の製造業の事業所が進出している(2015年)。岡山県津山市には、トステム、大正製薬、タリナップなどの事業所がある。

P.184 本文14行目 瀬戸内海をわたる旅客船
岡山県宇野港と香川県高松港間をかつて国鉄の運送による宇高連絡船が運航していた。瀬戸大橋開通により、自動車での移動で港と駅での乗り換えが必要となり、利用者は減少の一途をたどり、1988年4月に廃止された。

P.185 図3
中国自動車道は、中国地方の中央部を東西に通るルートで1983年に全線開通した。総延長は500km以上で、自動車道の中では日本で2番目に長い。それに並行するように山陽自動車道が1982年から次々と開通した。この路線の大半は山陽新幹線と

並行している。さらに、南北方向の岡山自動車道、浜田自動車道、赤子自動車道と整備が進んでいる。中国・四国地方全体の移動がしやすくなっただけでなく、九州地方や近畿地方などへの移動もしやすくなった。

P.185 図5
高知県香美市から岡山県岡山市まで、1969年—1989年—2019年はそれぞれどのようなルートと交通手段で移動したのかを考察させる。加えて、瀬戸大橋開通後の1989年と2019年でも、所要時間が約1時間短縮されている理由を考察させたい。その理由として、高知自動車道の開通があげられる。

解答例・手立て
P.185 資料活用
まず、近畿地方から九州地方を東西方向に結ぶ中国自動車道が整備され、その後、本州四国連絡橋の完成とともに、四国内の高速道路や日本海側に向けての整備が行われたことにより、南北方向への整備も進んでいる。

P.185 深めよう
大阪・京都・神戸と高知・高松・徳島を結ぶバスの路線が多い。

P.185 確認
・成果—安定して人やものが移動できるようになり、動きが活発になった。短時間で広範囲の移動が可能となり、工業や観光業が発展した。
・課題—フェリーなどの廃止により生活が不便になった地域もある。買い物客の都市部への流出により、地元の商業が衰退した。人口流出が激しくなり過疎化も進行した。

ワークシート・評価問題編

ワークシート編

教科書に準拠した、学習指導編の展開例の内容に対応するワークシートを掲載します。
※解答例入りの赤刷りは、デジタルデータ集(CD-ROM)に収録しています。

評価問題編

単元ごとに作成した「評価問題例」と「評価問題例の解説」を掲載しており、定期テストなどでの問題作成の参考となるようにしています。

評価問題例

知識・技能等を評価する問題や思考力・判断力・表現力等を評価する問題をバランスよく設定しています。特に思考力・判断力・表現力等を評価する問題については、様々な地理的思考を働かせて解答する問題を設定するなどの工夫をしています。

評価問題例の解説

解答例のほか、A判定の生徒に対する更なる課題や、誤答箇所別対応などのその後の指導方法も提案しています。

デジタルデータ集(CD-ROM)

教科書収録データ

1 教科書紙面データ集

(総ルビ付きPDFも収録)

電子黒板など提示型ICT機器を利用して、授業に活用できるように、教科書全ページの紙面をPDF形式で収録しています。

2 教科書本文テキスト

教科書の本文・コラムなどのテキストデータを収録しています。

3 教科書図版データ集

プリントやテスト作成の際に活用できるように、教科書図版をモノクロ化して収録しています。

付録データ

4 学習指導計画案

評価規準の参考事例となる学習指導計画作成資料を収録しています。

5 ワークシート

解答例なし・解答例入りの2種類を収録しています。

6 白地図

日本全国・各地方図・世界全国・各州図など

ワークシートNo.68

第3編第3章 日本の諸地域 2 中国・四国地方—人口や都市・村落をテーマに—

3 都市部や農村部を結ぶ交通網 教科書 P.184~185

年 組 番 名前 _____ 学習日 年 月 日

学習課題 中国・四国地方の交通網の整備は、人々の生活をどのように変化したのでしょうか。

1 次の問いに答えよう。

①中国・四国地方を東西に走る高速道路のうち、山陽部を走る中国自動車道が先に建設された理由を書こう。

解答例：過疎地域を活性化するため。

②教科書P.185図③を見て、本州四国連絡橋の3つのルートを書こう。

見島 — 取島 ルート 神戸 — 徳島 ルート 尾道 — 今治 ルート

③本州四国連絡橋の開通後、本州と四国地方のあいだの移動者が利用する交通手段である「フェリー・旅客船」「高速バス」の利用者数は、どのように変化したか、簡単にまとめよう。

フェリー・旅客船
解答例：3つのルートが開通した直後に、利用者が大きく減少した。

高速バス
解答例：3つのルートが開通していきにしたがって、利用者が増加している。

2 次の問いに答えよう。

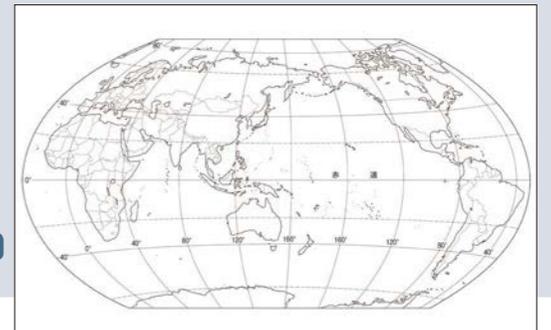
①次の文の()にあてはまる言葉を答え、高速道路や本州四国連絡橋が建設されたことによる成果をまとめよう。
・中国自動車道沿いの市町村では、(ア 工業団地) がつくられて工業が盛んになったところもある。
・本州四国連絡橋の建設によって、岡山市と高松市のあいだでは(イ 通勤)・通学する人が増えた。(ウ 京阪神)大都市圏と四国地方を結ぶ(エ 高速バス)の路線が充実し、(オ 観光)客が増加した。

②次の文の()にあてはまる言葉を答え、高速道路や本州四国連絡橋が建設されたことによる課題をまとめよう。
・交通が便利になったことで、(ア 人口)の流出が加速して(イ 過疎)化が進んだ。
・四国地方の買い物客が(ウ 大阪)市や神戸市に出かけやすくなって、地元の(エ 商業)がおとろえた。

1 近畿地方の自然環境と人々のかかわり

中部の平地と南北の山地 近畿地方は、地形によって北部・中部・南部に分けられます。中部には大阪平野が広がっています。大阪湾にそそぐ淀川や大和川の上流には、日本最大の湖の琵琶湖がある近江盆地や、京都盆地、奈良盆地があります。瀬戸内海には淡路島が浮かび、沿岸には播磨平野が広がっています。伊勢湾の沿岸には伊勢平野があります。北部と南部には、山地が広がっています。北部には丹波高地などのなだらかな山地が続いています。南部の紀伊半島には、紀ノ川(吉野川)から志摩半島にかけて、中央構造線という巨大な断層があり、

↑ 1 教科書紙面データ集 総ルビ付きPDF



→ 6 白地図

●学習者用デジタル教科書

生徒一人一人に個別に最適化された学びをサポートします！

日本文教出版は、「学校教育法等の一部を改正する法律」の公布を受けて制度化された、**学習者用デジタル教科書**を発売します。

この学習者用デジタル教科書は、学校教育法において規定された基準において、必要に応じて紙の**教科書に代えて**利用することができます。



↑教科書 P.194-195

デジタル教科書って何？

ポイント①



紙の教科書と同一の内容を収録しており、紙の教科書と併用して使用することができます。

ポイント②



基本的に生徒一人一人が、個々の端末で利用します。

ポイント③

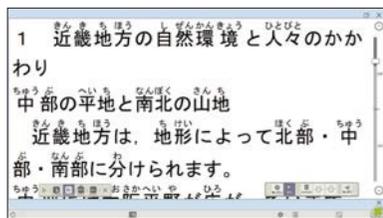


紙面の拡大や書き込みなど、ICT教材ならではの機能が活用できます。

学びを助ける機能の充実

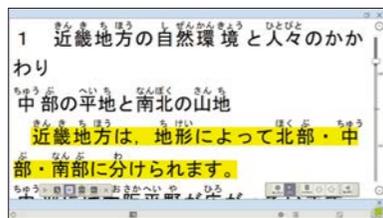
充実した機能は、特別な配慮を必要とする生徒の学習も支援します。

リフロー・総ルビ表示



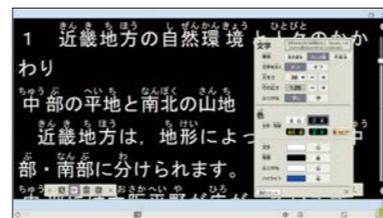
文字の大きさや行間を調整する**リフロー表示**が可能です。また、すべての漢字にルビ(ふりがな)を表示する**総ルビ表示**にも対応しています。

機械音声読み上げ



機械音声による**読み上げ機能**が搭載されています。読み上げ速度の変更や読み上げる箇所を**ハイライト表示**することも可能です。

背景色・文字色等の変更



背景色や文字色、書体や行間などを変更することが可能です。

●指導者用デジタル教科書(教材)

学習者用デジタル教科書とは別に、**指導者用デジタル教科書(教材)**も発売します。**動画やスライドショーなどのコンテンツ**を通して、内容理解をより深めることができます。



教科書紙面とコンテンツが一体化しており、授業をサポートする指導者用教材です。

豊富なコンテンツで生徒の理解を助けます

コンテンツ例①

地図の重ね合わせ

「1 近畿地方の地形と2 近畿地方の人口密度を重ね合わせる」

紙の教科書に載っている複数の地図を重ね合わせることができます。



←教科書 P.194

コンテンツ例②

スキルUPの解説

「グラフのつくり方」



スライドショーでの解説と作業学習を組み合わせることで学習効果を高めます。

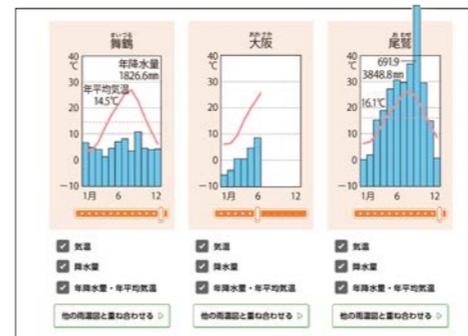
←教科書 P.133

コンテンツ例③

雨温図の重ね合わせ

「3 近畿地方各地の雨温図」

様々な都市の雨温図と重ね合わせることができます。



←教科書 P.194

その他のコンテンツ例

- ・一斉授業で使いやすい「図版の単独拡大」
- ・読み取りに便利な「地図・グラフの凡例別表示」
- ・興味・関心を引き出す「アニメーション」など

●学習者用デジタル教科書+教材

学習者用のコンテンツを収録した教材です。生徒一人一人が**個々の端末**で利用することを想定しています。



●各種商品情報

「学習者用デジタル教科書」

「指導者用デジタル教科書(教材)」

「学習者用デジタル教科書+教材」

発売：令和3(2021)年3月 予定 / 価格：未定

動作環境：Microsoft Windows10/8.1、iOS11/12 (iPad)・iPadOS13、Google Chrome OS

※表示ソフトウェアは「まなビューア」を採用しています。

※本ソフトウェアは開発中のため、本記事の内容および仕様は予告なく変更する場合があります。



体験版のご案内

弊社ウェブサイトにて、ウェブブラウザ上で動作する各種商品の体験版を公開しています。ご利用にあたり、ファイルのダウンロード等は必要ございません。

🔍 日文 デジタルサポート

🔍 検索